



野木小だより

令和4年2月10日

第10号

野木町立野木小学校

書き初め会がおこなわれました！

1月14日(金)に校内での書き初め会が行われました。お習字の〇〇先生を講師にお迎えし、学年ごとに別れて書き初めです。各学年ともお手本は違います。1年生は「ふじ山」を、2年生は「元気にあいさつ」を、フェルトペンで書きました。3年生以上は毛筆になります。3年生は「友だち」、4年生は「明るい心」、5年生は「新しい風」、6年生は「将来の夢」です。みんな一生懸命取り組んでいました。書いた作品は教室や廊下に掲示されました。



日産自動車オンライン工場見学がおこなわれました！

1月18日(火)に5年生が日産自動車栃木工場を見学しました。実際に工場で見学するかわりに、オンラインでアテンダントの方が案内する方法です。自動車の部品から出荷までの製造工程や仕組み、さらに事故ゼロを目指す会社の取り組みや未来の最先端技術を、クイズや質問を交えて楽しみながら学ぶことができました。また、環境にやさしいクルマづくりのためのさまざまな努力や工夫を重かさねている点も勉強になりました。



給食週間に様々な活動を実施しました！

1月24日(月)～28日(金)を給食週間とし、学校給食や食に関する意義について理解を深め、給食に携わる多くの方々への感謝の心を育む取り組みを実施しました。コロナ感染対策のために、掲示物や放送によるものが主な活動となりました。給食委員によるお昼の放送では、クイズを出し給食への関心を高めていました。



【標語入賞作品より】

- ・スープなら おやさい たっぶり たべられる
おいしい きゅうしょく うれしいな だいすき
- ・がんばります やさいたべます すこしずつ
- ・きゅう食はあいじょう たっぶりおいしいな
パクパク食べちゃう ありがとう
- ・ちょう理いんさん 聞いててね 大きな声で
いただきます
- ・地域の食材で コロナに負けない からだ作り
- ・おいしい給食 愛情たっぶり 残さず食べる
元気なわたし
- ・もく食で 目と目で会話 「おいしいね」
- ・給食はぼくたちの 未来を考えた 栄養素
- ・おいしい給食から学ぶ 食べて身になる 地域の農業
食文化
- ・食品ロスをなくしたい その気持ちで 完食目指す

- ・地産地消 地元の味が 一番だ
- ・給食はどんなものでも 食べられる
まほうのランチ おいしい給食

代表委員会が行われています

3～5年生の代表児童による代表委員会が連日行われています。テーマは「6年生を送る会について」です。在校生からの感謝の気持ちを伝えることと、楽しい思い出づくりをすることがめあてです。熱心に話し合いが行われています。きっと下級生が素晴らしい送る会を考えています。

まん延防止等重点措置を受けて

新型コロナウイルス感染症が拡大し、栃木県も1月27日からまん延防止等重点措置が適用されました。これから、感染拡大が予想されることから、感染防止のため行事の中止や学習活動の制限をさせていただきます。ご了承ください。

2月9日(水) 授業参観・懇談会⇒中止
2月15日(火) 3年校外学習⇒中止
2月24日(木) 学校運営協議会⇒
書面開催

第2回学校評価結果をお知らせします

本校では、学校教育目標を達成するために4つの努力点で16の重点項目を設け、数値指標を掲げて教育活動に取り組んでいます。その評価は年に2回実施し、今回は第2回にあたり、児童、教職員に加え保護者と地域の皆様にご協力いただきました。保護者の皆様・地域の皆様にこの紙面で簡単にご報告させていただきます。

※以下の表では、各設問4段階の回答のうち「よくあてはまる」「ややあてはまる」を選んだ人の割合が数値指標を達成できれば○、達成できなければ△としました。

【努力点1】 行動しよう 《つよく》

心身ともに健康でたくましい子どもの育成

(数値指標)	児童	教職員	保・地
からだを使った遊びや運動(90%)	○	○	△
栄養バランスを考えた食事(90%)	○	○	△
うがい・手洗い・歯みがき(90%)	○	○	○
安全な生活(交通安全・避難訓練)(100%)	△	△	△

学校においては休み時間等に児童自ら進んで外遊びをする姿が多く見られました。コロナ禍であることで、放課後児童同士で遊ぶことが減ったことから、保護者地域の方の「あてはまらない」の回答の割合が高くなったと思われます。給食での好き嫌いについて、児童なりに頑張っているようです。引き続き食育の充実を図ります。安全面では、避難訓練は毎回方法を変えて取り組んでいます。毎日の下校で横に広がらず、ルールやマナーを守って歩くよう指導していきます。

【努力点2】 見つけよう 《あかるく》

思いやりのある心豊かな集団づくりの推進

(数値指標)	児童	教職員	保・地
あいさつ・言葉遣い(90%)	○	△	△
互いを思いやる行動(90%)	○	○	○
自分のよいところ・得意なこと(85%)	○	○	○
楽しく学校に登校(90%)	○	○	○

あいさつ・言葉遣いに関する教職員・保護者地域の方の評価は今年も指標を達成できませんでした。大きな声を出さなくても気持ちの良い挨拶ができるように指導していきます。

自分のよいところに関しては、「よい

ところ発見カード」を活用し、人権週間や帰りの会などで友だちのよいところなどを発表するなどして、自尊感情を高めてきた成果と思われます。楽しく学校に登校に関しては、より実態を把握し、子どもたちひとりひとりの不安や悩み等に寄り添い、適切かつ迅速な支援をしていきます。

【努力点3】 深めよう 《いきいきと》

分かる授業をとおした確かな学力の保障

(数値指標)	児童	教職員	保・地
自分の考えや思いを表現 (90%)	△	○	△
家庭学習 (宿題・自主学習) (80%)	○	○	○
読書 (読書が好き) (80%)	○	○	△
授業の内容を理解 (90%)	○	○	△

自分の考えや思いを表現については、授業を通して思考力・表現力等をつけさせるよう指導していきたくと思います。家庭学習の習慣形成はとても重要です。毎日少しずつでも机に向かえるよう、宿題や自主学習の課題の出し方についてさらに工夫を図ります。

毎朝10分間の読書の時間では、どの子も集中して読書を楽しんでいます。引き続き家でも本に親しめるよう呼びかけていきます。

【努力点4】 つながろう 《連携》

家庭や地域、関係諸機関との連携による地域とともにある学校づくり

(数値指標)	児童	教職員	保・地
各種たより、連絡帳 (90%)	○	△	○
学校支援ボランティア (90%)	○	△	○

家の人に学校のことを話す (90%)	△	○	○
一行日記・家庭との連携 (90%)	○	○	○

コロナ禍であったため、学校支援ボランティアの方との関わりは大幅に縮小せざるを得ませんでした。そのような中でも学習活動に関わっていただいた皆様のご協力に感謝します。

各種たよりや連絡帳、学校のことを家の人に話すこと、一行日記について、1学期に比べ肯定的な回答が増えました。今後とも様々な連携を進め「地域とともにある学校」の推進を図っていきたくと考えています。

地域の皆様からの温かいご意見

ありがとうございました

学校評価自由記入欄には、地域の皆様からのご意見も寄せられましたので主なものをご紹介します。

- 交通ルールでは、登校時は、ルールを守っているが、下校時は通学班の行動ではなく、通路いっぱいに広がり、話ながら行動している。あいさつは、子どもからしてこない。
- 下校パトロールの途中であってもよくあいさつしてくれる。
- とてもよく回覧版で回ってくるので楽しみです。(学校だより)
- このコロナ禍での1年が子どもたちにどのような影響を与えているのだろうか。基本的習慣、対人関係、遊び運動など、現状把握し、健全であるよう(育つよう)目配りしていきたく。すべての子どもたちは宝であると考え。大人達は責任、自覚を覚醒したいものである。いつも温かいご指導いただき皆感謝しております。これからもよろしく願いいたします。

お知らせ

- ○○教諭が産休に入ります。○年○組の学級担任は、○○教諭が引き継ぎます。どうぞよろしく願いします。